

## 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業開講科目(15)

科目名/提供大学名	東南アジアの言語と文化／福井県立大学
科目名（英文）	Language and Cultures in Southeast Asia
対象学年	1・2・3
開講時期	前期（集中）
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	伊澤 亮介
オフィスアワー	講義後及びメールにて質問などを常時受け付ける。
教員メールアドレス	<a href="mailto:r-izawa@sumire.ac.jp">r-izawa@sumire.ac.jp</a>
概要	様々な場面を想定した実践的なベトナム語を身に付け、その背景にある文化への理解も深める授業である。また、以後さらに学習を深めるための参考書や情報検索の方法なども紹介する。
授業目標・目的	文化的背景を含めたベトナム語の特徴を理解するとともに、正確な発音と正しい発話のルールに従った、ベトナム語による基本的な会話ができること、また読解のための基本的な知識の獲得を目指す。
身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	1. ベトナム語表記を正確に発音できる。 2. 基本的な語について聞き分けることができ、簡単な挨拶、対話ができる。 3. 呼称を初めとした会話のルールを理解し身に着ける。 4. 基本的な文化的背景を理解する。 5. 簡単な文章を読むことができる。
授業計画・授業内容	<リアルタイム授業> 第1回：イントロダクションー授業内容、評価基準・方法、課題について（内容・提出方法）、ベトナムについての基礎知識 第2回：文字と発音（1）－漢字、チュノム（字喃）、クオックグー（国語） 第3回：文字と発音（2）－発音の仕組みと声調 第4回：あいさつ（1）－呼称のルール 第5回：あいさつ（2）－年齢、数 第6回：あいさつ（3）－複数形、国籍 第7回：自己紹介（中間テスト） 第8回：場面別会話練習（1） 第9回：場面別会話練習（2） 第10回：場面別会話練習（3） 第11回：読解 第12回：テスト（期末テスト）  <オンデマンド授業> 第13回：ベトナムの文学 第14回：ベトナムの文化（芸能①） 第15回：ベトナムの文化（芸能②）
授業方法	Zoomを使ったリアルタイム形態と、動画を視聴する形のオンデマンド形態を併用した授業です。ベトナム語を学ぶにあたっての前提となる知識や、文化についての講義は動画を配信し、それを視聴した後で課題を提出してもらいます。リアルタイム授業では実際に発音してもらいながら、基本的な会話の練習をしていきます。リアルタイム授業では、事前に配布するプリントに従って行いますので、プリントアウトしてもらうことが理想的です。適宜視聴覚資料も交え、ベトナム語、ベトナム文化を体感できる形で進めたいと考えています。ベトナム語の習得には、まず正しい発音の習得が肝要なため、授業への積極的な参加、特にしっかりと声を出してくり返し発音練習することを求めます。上記のような授業内容のため、リアルタイム授業において、少なくとも発音練習中は音声を出すことができる（理想的には顔も映すことができる）環境が必要です。
キーワード	ベトナム語、モン・クメール語、声調言語
教科書	毎回資料を配信
参考書	授業中に必要に応じて順次紹介するが、特に持参することは求めない
評価方法・評価基準	期末テスト（30%）、小テスト（30%）、出席・授業参加（40%）
関連科目	
履修の要件	
必要な事前・事後学習	毎授業内で練習するスキットと単語を復習すること、毎授業初めに前回学習した単語の確認テストを行う
その他・注意事項	準備学習については、講義時に教員より指示する。